

コースを始める

For the Teachers

コースを始める前に、コースの内容や方法について紹介し、学習者自身がコース期間中の目標（日本語で何ができるようになりたいか、日本の何がわかるようになりたいか）を考えます。また、学習者同士が打ち解けあえるようなゲームをして、コースに入る準備をします。



流れ

オリエンテーション（30分）

アイスブレイク（30分）

インタビューと学習相談（1人20分）

自己目標を書く（クラス外）

活動記録を書く（クラス外）

オリエンテーション Course Orientation

コースの目的や内容、方法などについて紹介します。写真や図を使って、短時間で、わかりやすく説明するようにします。（以下は、オリエンテーションで使用するPowerPointのスライドの一例です。）

(1)コースの目的と目標は？

研修の目標

- 1 習った日本語を使ってみる
- 2 体験や交流を通じて、日本を理解する
- 3 帰国後の勉強に役立つことを見つける

まず、何が目標で、何が大切かをはっきり伝えます。同時に、「しないこと」についても伝えておきます。体験交流活動を主にするのであれば、「文法を勉強するコースではありません」と伝えておくことも大切です。

(2)どんな活動がありますか？

どんな授業や活動をするのか。実際の写真を使って、イメージ作りをします。

インタビュー



大阪オリエンテーリング



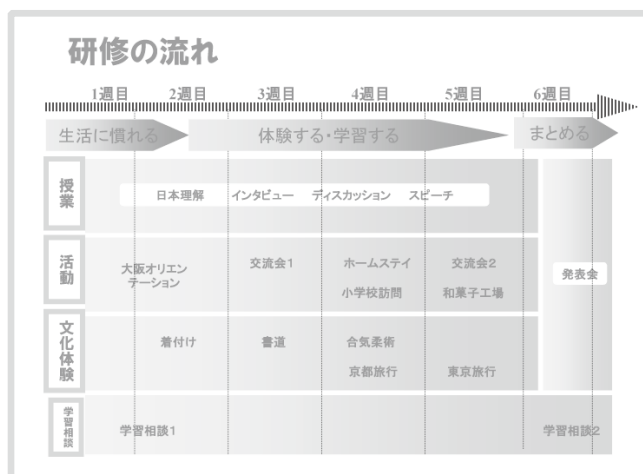
書道



ホームステイ

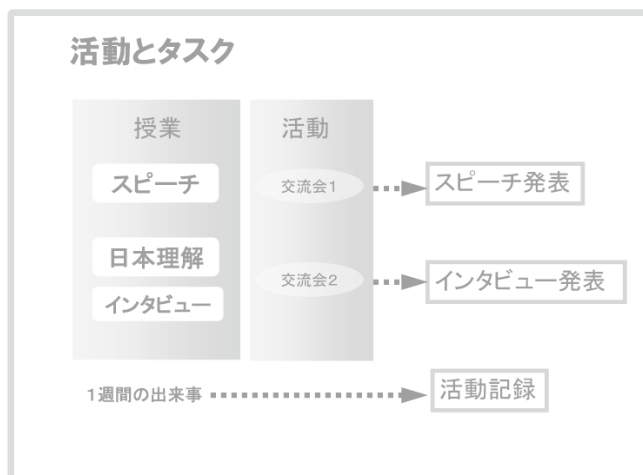


(3)スケジュールは？



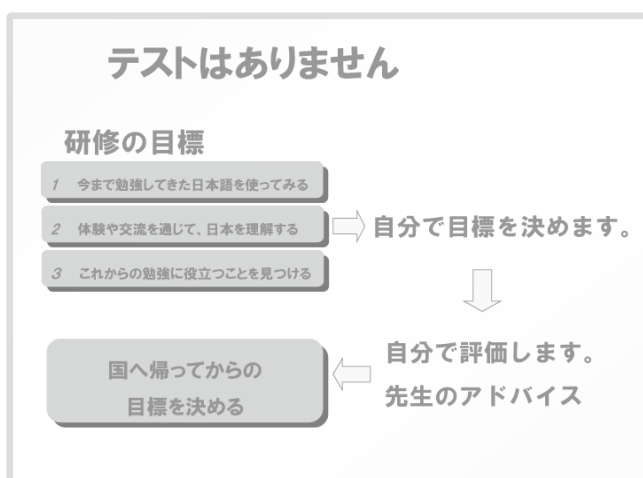
授業や交流活動、旅行、発表会などのスケジュール、またいろいろな活動の意図などが、一目瞭然でわかるようにチャート化して見せます。

(4)どんなタスクがありますか？



レポートや発表など、やらなければならないタスクや提出物などは、前もって知らせておきます。

(5)テストはありますか？ どんな評価をしますか？



筆記や口頭テストがあるのか、どんな評価をするのかについて、知らせておきます。

アイスブレイク Icebreakers

学習者同士が短い時間で打ち解けられるようゲームなどをします。アイスブレイクにはいろいろな活動がありますが、ここでは2種類を紹介します。

(1)「名前であいうえお」

❖ 目的

お互いの名前を知る

❖ 用意するもの

広い場所、50音表、BGM

❖ 人数

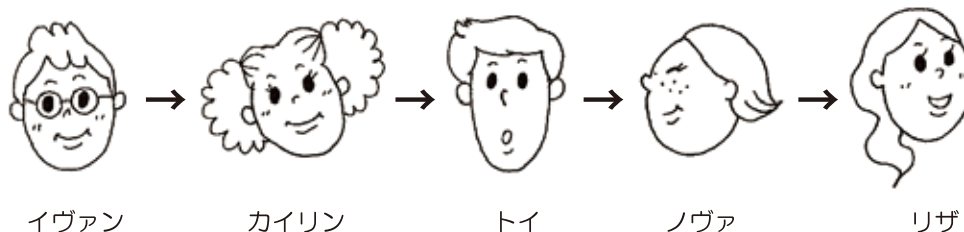
10人ぐらい～

❖ 方法

①近くの人とお互いの名前を紹介し合い、50音順に並ぶ。

Point !

- ・50音順を覚えていない人もいるので、表を貼り出しておきます。
- ・姓・名の順で氏名を紹介するように指示しておきます（名・姓ではなく）。ニックネームでもいいでしょう。
- ・バリエーションとして、出身国別に並ぶ方法もあります。見本となる世界地図を貼り出しておき、それぞれが自分の出身国と思われる位置に立ちます。近くに立った人に出身国や地域を聞いて位置を調整していきます。あらかじめ日本の位置を決めておくと、やりやすくなります。



(2)「4コーナー」

❖ 目的

考え方の違いを知る

❖ 用意するもの

広い場所、4つのコーナーを示すパネル

❖ 人数

6人ぐらい～

❖ 方法

①広いスペースを「そう思う・そうは思わない・どちらとも言えない・わからない」の4つのコーナーに分ける。(下図参照)

そう思う	そう思わない
どちらとも言えない	わからない

②例えば、「日本語が話せたら、世界の人と友達になれる」のような質問をし、参加者は「4つのコーナー」の該当するところへ移動する。

質問例：日本人はみんなよく働く、日本語は国際語だ、
国が違ってもお互いを理解することはできる、など

③各コーナーで理由を話し合ったり、コーナー同士の意見の違いを議論したりする。

④話し合った後で、コーナーを移動したい人は移動し、更に話し合いを続けてもいい。

Point !

バリエーションとして、例えば、「趣味→音楽、スポーツ、読書、料理」「専門分野→文学、科学、経済、教育」などの4グループに分かれ、それぞれのグループで話すのも楽しい活動になります。

★こんな本が参考になります

絹川友梨『インプロ・ゲーム：身体表現の即興ワークショップ』晩成書房
中村律子、浅見かおり他『人と人をつなぐ日本語クラスアクティビティ』
アスク出版

インタビューと学習相談 Interview & Study counseling

1人20分程度時間をとって、インタビューと学習相談をします。インタビューの目的は、学習者の日本語力を知ること、学習相談の目的は、学習者の日本語学習上の問題や日本への興味を明確にすることです。聞き取った内容は記録して、教師間で共有し、活動記録にコメントを書いたり、コース終了時に学習相談をする際の参考にします。

(1) インタビュー

質問例

トピック	質問
自己紹介 呼び名	<ul style="list-style-type: none"> ・お名前は？ どこに住んでいますか。何歳ですか。 ・自己紹介してください。 ・名前にはどんな意味がありますか。
来日	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ日本へ来ましたか。 ・日本までどうやって来ましたか。 ・日本は初めてですか。 →いいえ→前は、いつ来ましたか。目的は？
日本語と 日本への興味	<ul style="list-style-type: none"> ・どこで、どのくらい日本語を勉強しましたか。 ・どうして、日本語を勉強しようと思ったんですか。 ・日本について、どんなイメージがありますか。 ・日本の文化や社会に興味がありますか。例えば？

Point !

インタビューしながら、以下のような点をチェックします。

- ・発音や流暢さ
- ・使える語彙や表現の幅、正確さ、流暢さ
- ・談話レベル(単語、文節、単文、複文、段落)
- ・スピーチスタイルのゆれ(「です/ます」の丁寧体を保って話し続けられるか)
- ・応答の的確性(聞かれていることにきちんと答えているか)
- ・説明/描写の明晰度(わかりやすく説明できるか)
- ・取り扱える話題の幅(名前の由来、専門、社会的話題のどこまで扱えるか)
- ・展開度

(2) 学習相談

❖ 質問例

トピック	質問
日本語の学習上の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・今、日本語の勉強で問題がありますか。 →どうして、どんな時、そう思いますか。 →どうしたらいいと思いますか。 →どうして、そういう勉強ができないんでしょう。 ・日本にいる間に、何ができるようになりたいですか。 →例えば、(だれと? 何を? どんなとき?) →そのために、何をしたらいいと思いますか。
日本への興味	<ul style="list-style-type: none"> ・日本にいる間に、どこへ行きたいですか。何を見たいですか。 ・日本について、どんなことが知りたいですか。 →例えば、(何を? どんな? どこで?) →そのために、何をしたらいいと思いますか。

Point !

学習者が、今の自分の問題に気づくことが大切です。そのために、学習者の言葉から、その背景を掘り下げ、学習者自身が答えを出せるように質問していきます。ここでの掘り下げが「目標」につながります。



自己目標シートの作成へ

自己目標を書く Goal Setting

学習者には、それぞれ日本で「やりたいこと」「知りたいこと」があるはず。コースを始める前に、それを「自己目標」として意識し、コースが終わった時に、できたかどうかを自己評価します。教師は、以下の点に気をつけて、自己目標が具体的で達成可能なものになるよう助言します。

❖ 自己目標シートの記入例

	このコースでしたいこと	できたこと
日本語	<ul style="list-style-type: none"> 私は日本語の特徴を習いたいと思います。たとえば、カタカナ語と英語の発音のちがいを、よくわかりたいと思います。 日本人のように、日本語でうまくしぜんに言葉をはせるようになりたいです。そのために、いろいろな日本人と話したいです。 	<p>「したいこと」を具体的に書いているか</p> <p>どうやってするか、実現の方法について考えているか</p>
	<p>体験</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本はどんな国か、日本人の生活様式はどうか、テキストや先生から知っていますが、それを体験してわかりたい。 伝統的な行事に参加してみたい。たとえば茶道など。 新しい友人がほしいです。そのために授業の後、出かけます。 	<p>コース期間中に、できることを書いているか。</p>

Worksheet

なか もくひょう か
 コース中の目標を書きましょう。目標は、もくひょう あと か ついで か
 後で変えてもいいし、追加してもいいです。
 Write the goal you want to achieve during the course. You can change it or add something to it later.

	このコースでしたいこと	できたこと
日本語		
体験		

活動記録をつける Keeping Weekly journal

コース期間中、さまざまな体験をする中で、日本語や日本人、日本社会について気づいたことや考えたことを、毎週振り返って記録します。教師は、記録に一言添えて学習者の気づきや考えが深まるように促します。活動記録をもとに、クラスメートといっしょに前の週の出来事や気づきについて話し合ってもいいでしょう (p126)。

活動記録の記入例

① 2007年 6月 11日(月)～ 6月 17日(日)

●この 1週間で ^{しゅうかん}気が ^きついた ことを ^{みじか}短く ^か書きましょう。

1. ^{にほんご}日本語に ついて

自分のクセが よくわかるようになった

2. ^{あたら}新しい ^{けいけん}経験

いろいろな年の日本人と話してみた

3. ^{にほん}日本の ^{せいかつ}生活や、^{にほんじん}日本人に ついて

^{ことが}いろいろな生活のスタイルが調和している ^{ことが}とわかった

★1～3に ついて、^{かんが}考えた ことなどを ^{くわ}詳しく ^か書きましょう。

3について

金よう日に京都へ日帰りで行きました。いちばん有名な清水寺を見ることができました。そこはツーリストだけでなく、ふつうの日本人もたくさんいました。

小学生からおとしよりまで、おもしろい服を着ている若者もゆかたを着ている人

も学校の制服を着ている学生もお寺で^{ついで}祈りました。わたしはびっくりしました。

^で日本にはいろいろなスタイルが調和している ^{ことが}とわかりました。

おもしろいですね。服だけでなく、ほかにもいろいろなスタイルがあるでしょうか。これからもよく見てください。

Worksheet

かつどう きろく
活動記録

Weekly journal

① 年 月 日() ~ 月 日()

●この ^{しゅうかん}1週間^きで ^き気が ^ついた ^{こと}を ^{みじか}短く ^か書きましょう。1. ^{にほんご}日本語^に ^ついて2. ^{あたら}新しい ^{けいけん}経験3. ^{にほん}日本の ^{せいかつ}生活^や、^{にほんじん}日本人^に ^ついて★1～3に ^{かんが}ついて、^{かんが}考えた ^{こと}などを ^{くわ}詳しく ^か書きましょう。

Worksheet

まえ 1 週間の 日本語学習や 活動、体験を 振り返り、気づいた こと、考えた ことを クラスメイトと 共有します。

Look back last week Japanese Language learning, activities, experiences, and share with your classmates what you found or thought last week.

1 週間の 振り返り

1. 3~4人の グループで 自分の 書いた 活動記録の 3つの ポイントに ついて、友達に 簡単に 話して みましょう。
2. 友達の 3つの ポイントのうち、おもしろそうな ことについて 詳しく 聞いて みましょう。
3. 気づいた こと、発見した こと、考えた ことについて 他の人の 意見を 聞いて みましょう。
4. グループで 話して 特に おもしろかった 点について まとめて、クラス全体に 紹介しましょう。